

半田で子ども用品フリマ

30日 日福大生と障害児施設団体

日本福祉大(美浜町)の学生と、障害児通所施設を運営するNPO法人、Pakapaka(パカパカ)が、三十日に半田市のクラシティ三階の市民交流センターで、子ども用品のフリーマーケットを開く。午前十一時～午後二時半。

「武豊町」が、三十日に半田市のクラシティ三階の市民交流センターで、子ども用品のフリーマーケットを開く。午前十一時～午後二時半。



フリーマーケットに参加する学生たち＝美浜町の日本福祉大で

移り変わりが激しかったりする子どもたちのため、安価なおもちゃや子供服を数多くそろえようと企画。フリーマーケットのほか、託児スペースや工作を楽しむコーナーも設ける。大学の講義の一環として、社会福祉学部の一年生十七人が参加する。

販売する品物は大学の教職員らから集め、千点以上を用意。価格は十～五百円。売り上げは、パカパカの家族支援事業に充てる。

両者によるフリーマーケットの開催は、二〇一八年に始まったが、新型コロナウイルス禍で中断。三年ぶりの開催となる。

学生リーダーの外山貴教さん(こ)は「みんなで子どもを助ける『地域共生』の実現に一歩近づけば」。サブリーターの水野萌佳さん(こ)は「子どもたちが自分に合ったおもちゃを見つけ、生活が良くなればうれしい」と話している。

(三宅駿平)